

横須賀市中小企業景況レポート

第 47 号（令和 6 年 7 月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課
〒238-8550 横須賀市小川町 11
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3 か月に 1 回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：166 社（うち、かながわ信用金庫＋湘南信用金庫 調査 148 社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和 6 年 1～3 月の景況感（調査時点 令和 6 年 3 月 1 日）
 今期・・・令和 6 年 4～6 月の景況感（調査時点 令和 6 年 6 月 1 日）
 次期・・・令和 6 年 7～9 月の景況感（調査時点 " ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページに D I 値の説明あり）

景況及び 4 項目の調査結果（全業種）

* D I 値調査結果は裏面に記載

* 【 】は今期の D I 値を記載

全業種の景況感は、前期の△5 P から 9 P やや向上し、今期は【4 P】となりました。

今期の景況感は、建設業【11 P】は 19 P 向上し、製造業【2 P】、卸・小売業【△2 P】、サービス業【15 P】は、それぞれ 8 P、11 P、12 P やや向上しましたが、不動産業【△25 P】は、42 P 大幅に低下しました。

項目別では、売上額【6 P】は 6 P やや向上しましたが、その他の項目は横這いの状況です。

昨年同期（令和 5 年 4 月～6 月）との景況感比較は、今期構成比【4 P】で、前期構成比【△1 P】と比べ、横這いの状況です。

景況感はやや向上しましたが、依然として原材料費高騰による収益への影響や人手不足による受注機会損失の声が聞かれます。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値が DI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

向上 (15 P 以上)	やや向上 (6 P ～ 14 P)	変わらない (△ 5 P ～ 5 P)	やや低下 (△ 6 P ～ △ 14 P)	低下 (△ 15 P 以下)
				

業種別 調査結果と事業者の声

* DI 値調査結果は裏面に記載

（１）製造業 景況感 【 2 P <変わらない> 】 （前期比 8 P）

前期と比べ、売上額【△ 3 P】、収益【0 P】、は、それぞれ 6 P、9 P やや向上しましたが、雇用人員【△ 38 P】は 6 P やや低下しました。

次期は、資金繰りがやや向上し、収益がやや低下の見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ 人員については不足している状況。従業員（主に職人）の年齢層が再雇用などの 60～70 代の割合が多く、若返りを図りたい。
- ・ 材料費高騰の影響が続く。しかし価格も落ち着いてきているので、原材料・仕入価格が回復し、安定すれば売上は増加の予想。

（２）建設業 景況感 【 11 P <やや良い> 】 （前期比 19 P）

前期と比べ売上額【20 P】、収益【6 P】、資金繰り【9 P】は、それぞれ 11 P、12 P 6 P やや向上しました。雇用人員【△ 54 P】は横這いの状況です。

次期は、資金繰りがやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・ 材料費は高止まり、人件費の上昇も続いているが、適正な見積もりを出していることにより利益率も変わらず、業界全体としても業況は良化してきている。
- ・ 7～9 月売上は、前年比 10% 増加を見込む。東南アジアを中心とした外国人労働者の雇用を検討している。

(3) 卸・小売業 景況感 【 $\Delta 2 P$ <変わらない> 】 (前期比 11 P)

前期と比べ、売上額【7 P】、収益【 $\Delta 7 P$ 】、雇用人員【 $\Delta 25 P$ 】、資金繰り【 $\Delta 12 P$ 】それぞれ 13 P、12 P、9 P、11 Pやや向上しました。

次期は、雇用人員がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・価格の上昇は、当面続くと思われ、先行きは不透明。
- ・仕入れの高騰が進み、高値で推移しているが、価格へ転嫁できず販売価格に反映できていない。

(4) 不動産業 景況感 【 $\Delta 25 P$ <悪い> 】 (前期比 $\Delta 42 P$)

前期と比べ、売上額【 $\Delta 25 P$ 】、収益【 $\Delta 8 P$ 】は、それぞれ 42 P、25 P大幅に低下し、資金繰り【8 P】は9 Pやや低下しました。

次期は、売上額が大幅に向上し、収益がやや向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・土地価格および建材の高止まりにより、利益率は変わらず。7～9月売上は、前年比 10%増加を見込む。
- ・材料価格高騰の影響等から市内不動産の動きが回復するまで時間がかかると見る。

(5) サービス業 景況感 【 15 P <良い> 】 (前期比 12 P)

前期と比べ、雇用人員【 $\Delta 21 P$ 】、資金繰り【6 P】がそれぞれ 19 P、15 P向上し、売上額【9 P】は6 Pやや向上しました。

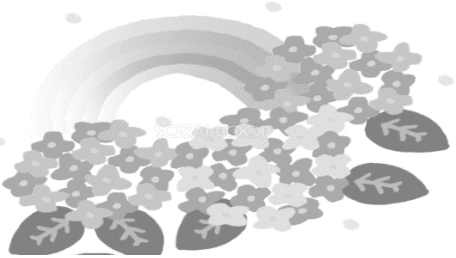
次期は、売上額、収益が向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・依然として人手不足と警備員の高齢化の状況は改善されず、大幅な売り上げ増加は期待できない。夏に向けイベントが増加することから7～9月売上は、前年比の 10%増加を見込む。
- ・感染症の影響もなくなり、店内で飲食するお客様が増えた。今夏も酷暑が予想され、ビールを中心にアルコール類の販売増加や地元祭礼復活などで、来店客の増加が期待される。

DI 値 調査結果

前・・・前期 令和6年1月～3月の景況感（調査時点 令和6年3月1日）
今・・・今期 令和6年4月～6月の景況感（調査時点 令和6年6月1日）
次・・・次期 令和6年7月～9月の景況感（調査時点 令和6年6月1日）



業種別調査企業数(回答数) (単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	160	32	34	47	12	35
今期	166	37	35	49	12	33
次期	166	37	35	49	12	33

(単位：ポイント)

業種 項目		全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景 況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良 い(A)	21	26	21	16	24	16	24	34	31	21	20	18	25	0	17	23	36	21
	変わらず	53	52	62	62	54	65	44	43	52	45	58	64	67	75	66	57	43	67
	悪 い(B)	26	22	17	22	22	19	32	23	17	34	22	18	8	25	17	20	21	12
	DI値(A)－(B)	△ 5	4	4	△ 6	2	△ 3	△ 8	11	14	△ 13	△ 2	0	17	△ 25	0	3	15	9
	今－前 / 次－今	9		0	8		△ 5	19		3	11		2	△ 42		25	12		△ 6
売 上 額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好 転(A)	27	31	26	13	24	16	41	40	29	28	31	24	25	8	25	26	36	36
	変わらず	46	44	55	65	49	60	27	40	57	38	45	54	67	59	50	51	37	52
	悪 化(B)	27	25	19	22	27	24	32	20	14	34	24	22	8	33	25	23	27	12
	DI値(A)－(B)	0	6	7	△ 9	△ 3	△ 8	9	20	15	△ 6	7	2	17	△ 25	0	3	9	24
	今－前 / 次－今	6		1	6		△ 5	11		△ 5	13		△ 5	△ 42		25	6		15
収 益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増 加(A)	22	23	19	13	24	16	26	26	20	17	20	16	25	17	25	31	24	21
	変わらず	50	53	61	65	52	62	42	54	63	47	53	57	67	58	50	43	52	67
	減 少(B)	28	24	20	22	24	22	32	20	17	36	27	27	8	25	25	26	24	12
	DI値(A)－(B)	△ 6	△ 1	△ 1	△ 9	0	△ 6	△ 6	6	3	△ 19	△ 7	△ 11	17	△ 8	0	5	0	9
	今－前 / 次－今	5		0	9		△ 6	12		△ 3	12		△ 4	△ 25		8	△ 5		9
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多 い(A)	3	5	5	9	8	3	3	0	0	0	4	6	0	0	0	3	9	12
	適 正	56	57	59	50	46	54	41	46	49	66	67	72	75	75	75	54	61	55
	少 ない (B)	41	38	36	41	46	43	56	54	51	34	29	22	25	25	25	43	30	33
	DI値(A)－(B)	△ 38	△ 33	△ 31	△ 32	△ 38	△ 40	△ 53	△ 54	△ 51	△ 34	△ 25	△ 16	△ 25	△ 25	△ 25	△ 40	△ 21	△ 21
	今－前 / 次－今	5		2	△ 6		△ 2	△ 1		3	9		9	0		0	19		0
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	余裕がある(A)	11	14	11	3	11	11	15	26	14	9	10	10	17	8	8	14	15	9
	支障がない	69	68	75	81	62	70	73	57	75	59	68	68	83	92	92	63	76	85
	苦 しい (B)	20	18	14	16	27	19	12	17	11	32	22	22	0	0	0	23	9	6
	DI値(A)－(B)	△ 9	△ 4	△ 3	△ 13	△ 16	△ 8	3	9	3	△ 23	△ 12	△ 12	17	8	8	△ 9	6	3
	今－前 / 次－今	5		1	△ 3		8	6		△ 6	11		0	△ 9		0	15		△ 3

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答151社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	35社	23%	22%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	87社	58%	55%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	29社	19%	23%
DI値(A)－(B)		4P	△ 1P

